

ブラジルの金融市場動向 Weekly Report

【2017年1月14日～2017年1月20日の推移】

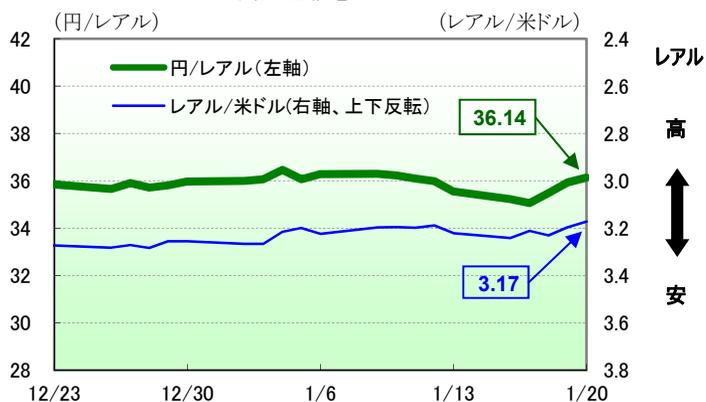
【1】先週の回顧

先週のブラジルの金融市場は小幅に上昇しましたが、ブラジル国内では目新しい材料はありませんでした。

ハードブレグジット懸念が高まったことやトランプ氏の米ドル高けん制発言が円高材料となりましたが、イエレンFRB(米国連邦準備制度理事会)議長の利上げを示唆する発言などは、米ドル高(レアル安)材料となりました。レアル安が進行した局面では、中央銀行はレアル買いに相当する為替介入を行い、通貨下落を抑制しました。

ブラジル中央銀行の政策決定会合議事録は、市場の期待である0.75%ポイントの利下げを支持する内容であったため、景気回復期待が高まりました。一方、IMF(国際通貨基金)は、ブラジルの2017年の成長見込みを下方修正しています。

【ブラジル・レアル 為替推移】(2016年12月23日～2017年1月20日)



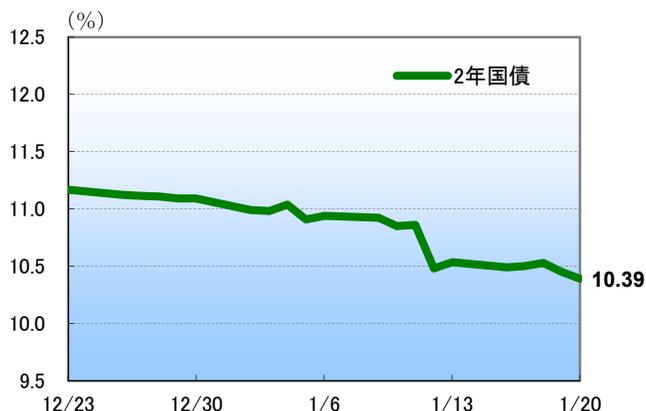
※四捨五入の関係で数値とグラフの目盛りが一致しない場合があります。

【2】今週の見通し

先週、最高裁判所のZavascki判事が飛行機事故で亡くなったと報じられました。判事はベトロプラスをめぐる一連の汚職事件を担当していたため、汚職捜査の遅延が懸念されるほか、政局に不透明感が高まる可能性があります。

引き続き、財政健全化の動向や、テメル政権の財政再建の実行力が注目されています。公的年金支給年齢の引き上げや社会保障改革などの緊縮策には各方面から反発も予想されますが、政権が財政健全化を着々と進め、海外投資家の信認改善が続いた場合には、ブラジル資産への投資活発化を通じてブラジル・レアルが下支えされることが期待されます。

【ブラジル 金利推移】 (2016年12月23日～2017年1月20日)



【3】主要経済指標

発表日	発表頻度	期間	指標名	データ	(参考)前回
1/19	毎月	2017年1月	インフレ率(15日締め、前年同月比)	5.94%	6.58%
1/24	毎月	2016年12月	経常収支(百万米ドル)	--	-878
1/24	毎月	2016年12月	海外直接投資(百万米ドル)	--	8,752

(出所:ブルームバーグより大和投資信託作成)

当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものであり、勧誘を目的としたものではありません。
 - 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
 - 当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、将来の成果を示唆・保証するものではなく、また今後予告なく変更されることがあります。
 - 当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。
- 販売会社等についてのお問い合わせ⇒大和投資信託 フリーダイヤル 0120-106212(営業日の9:00～17:00) HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>